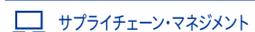


サプライチェーン・マネジメント



基本的な考え方



当社グループはお取引先さまを重要なパートナーと考え、関連法令を遵守し公正かつオープンな取引を通じて、信頼関係の確立と相互の発展を目指すとともに、責任ある調達活動を推進しています。

購買方針

グローリーグループは、資材の調達にあたり、関連法令を遵守するとともに、公正かつオープンな取引を通して、パートナーとしての信頼関係の構築を推進します。また、責任ある調達活動を推進し、持続可能な社会の発展に向けた取り組みを展開します。

1. 法令と社会規範の遵守

関連する法令遵守はもちろんのこと社会的倫理規範を尊重し、透明、公正で適正な購買活動を推進します。

2. 環境保全

環境方針『私たちは地球にやさしい行動と環境に配慮した製品・サービスを提供し、持続可能な社会の実現に貢献します』に基づき環境保全活動に注力し、資材の購入・調達において「グリーン調達活動」を推進しています。

3. 公正・公平な取引

お取引先様に対しては国内外・取引実績に関わらず、取引先選定指針に基づく公平な参入機会を設け、適正な競争の確保と公正な評価・選定により、最適なお取引先様を開拓します。

4. 品質の確保と競争力ある適正な価格の追求

私たちは『お客様の信頼と満足を得る製品・サービスをタイムリーに提供します』を品質方針に掲げ、品質・価格・納期・技術開発力を重視し、お取引先様からの新素材やコスト改善等の提案を積極的に採用します。

5. 信頼関係に基づく相互発展

公正な取引を通じてお取引先様と信頼関係を確立するとともに、相互の発展を図ることを目指します。

6. 情報の管理保護

購買取引によって知りえた営業上、技術上の機密情報については厳格に管理し、お取引先様の承諾なく外部に開示しません。

7. 責任ある調達活動の推進

お取引先様とともにサプライチェーンにおける責任ある企業行動を推進します。

責任ある調達のための取り組み

▶サステナブル調達に向けた取り組み

当社グループでは、既存のお取引先さまにおけるサステナビリティ活動の状況確認のため、「人権・労働」「安全・衛生」「環境」「公正取引・倫理」「品質・安全性」「情報セキュリティ」を中心に確認する「自主点検チェックリスト」による定期的な調査を行っています。2022年度は、当社及び部材調達を行っているグループ会社の一次お取引先さま583社に対して調査し、結果をフィードバックしました(回答率:100%)。

新規のお取引先さまには、購買方針を理解いただくとともに、「グローリーグループ責任ある



調達推進ガイドブック」や「グリーン調達基準書」への遵守を求めています。「自主点検チェックリスト」への協力等を含む「調達に関する覚書」も締結しています。

また、当社グループは責任ある調達活動の一環として、紛争鉱物調査を行っています。調査では、責任ある鉱物調達イニシアチブ(RMI)が発行している紛争鉱物報告テンプレート(CMRT)を使用し、4鉱物の精錬所特定を行っています。

▶お取引先さまとのパートナーシップの強化

当社では、お取引先説明会を開催し、今後の動向などをお取引先さまへ説明し、パートナーシップをより強化できるよう努めています。日本国内のお取引先さまを対象とした2023年1月のお取引先説明会では111社に出席いただきました。

また、「品質会議」では品質や製造工程に関する情報共有や課題の検討を行い、お取引先さまに品質改善事例を発表いただく「品質向上活動発表会」や「基板品質方針説明会」等も実施しています。2022年度はオンライン形式で開催しました。加えて、当社の部品受入部門は定期的にお取引先さまを訪問し、改善のアドバイス、作業環境の改善提案などを行っています。



「お取引先説明会」(2022年度)

▶お取引先さまコンプライアンス・ホットラインの運用

グローリーグループの購買活動に関し、お取引先さまに対するグループ各社の役員・従業員によるコンプライアンス違反行為を、お取引先さまより通報いただく「お取引先コンプライアンス・ホットライン」を開設し、国内及び海外グループ会社のお取引先さまへご案内しています。通報は、調達担当部門とは異なる当社内の担当部門にて受け付け、事実関係を調査したうえで適切に対応しています。2022年度は違反事例は発生していません。

Voice グローリーへ部品をご納入いただいているお取引先さまにお話を伺いました

当社は、通貨処理機の駆動に使われるタイミングベルトや紙幣・硬貨の搬送に使われる平ベルト、ウレタンベルト、外装や製品内部の機構に使われる樹脂成形部品をグローリーに納入しています。グローリーとは、平ベルトの納入から始まり20年近い取引実績があり、時には困難に直面しながらも取引を継続しています。

当社は、グローリーからの内示情報に基づき、在庫をグローリーの工場内に直接お届けする運用で部品の納入を行っています。余裕を持った在庫量を維持し、納入には万全を期していますが、万一調整が必要な場合は、グローリーの購買担当者と工場ごとの出荷の優先順位を相談し、納入対応をさせていただいています。また、納入部品に使用している材料の変更を提案した際には、新素材の評価について試験方法や手順などを、グローリーの購買部門、品質保証部門と共に検討しながら進めることができました。グローリーとは、取引を通して良好な関係を築いており、今後も高品質なモノづくりを行う、という同じ価値観を持つ企業として、協業関係を維持していきたいと考えています。

近年は、サステナビリティ意識の高まりを受け、エネルギーロスの少ないベルトや非石油由来のバイオマス素材を原料としたベルトの開発などにも取り組んでいます。また、製造工程における環境負荷の低減に向けて、工場で使用する燃料を重油からガスへ転換するなど進めています。太陽光パネルの設置等も合わせて、2050年のカーボンニュートラルに向けた取り組みを着実に進めていく所存です。

当社は、経営基本方針「高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」をモットーに、真心のこもったモノづくりを行っています。メイン商品のベルトは、目に見える部分に使われることは少ないですが、クルマや家電といったさまざまなところで活用されており、ベルトが切れると動かなくなる機械も多くあります。人々の快適な暮らしを支える商品を作っているという自負を持って、これからも実直にモノづくりを進めてまいります。



三ツ星ベルト株式会社
執行役員 社長室室長 辻 政嗣様(右)
執行役員 産業資材営業本部副本部長 小阪田 広哉様(左)